

行政視察報告書

視察報告議員 田島 寛信

【視察期間】 令和6年1月23日(火)～1月25日(木)

【視察日】 令和6年1月23日(火)

【視察先】 山口県山口市

【調査事項】 デジタル人材育成・仕事創出ネットワーク形成事業について

【所感】

コロナ禍を機に社会全体の急速なデジタル化が進み、地方自治体や企業においてもDX(デジタル・トランスフォーメーション) 推進は急務となっている。その一方、地方行政や地方経済の現場ではデジタル人材の不足や育成の難しさという課題が生まれている。このような中、山口市ではデジタル人材育成、ネットワークの形成、仕事創出の3つの分野からDXの促進や新しいデジタルビジネスの創出を目指している。主に指定管理委託されている株式会社ツクリエが事業運営しているようだが、行政、商工会議所等の連携も必須であろうし、DX化を検討している事業者や人材などへの支援も必要となる事業だと感じた。時代の変化を「学び」で切り拓いた長州藩の維新精神が脈々と続く山口市のこの事業の今後の動向を期待すると同時に、注視していきたいと感じる視察であった。

【視察日】 令和6年1月24日(水)

【視察先】 静岡県静岡市

【調査事項】 一歳・二歳児家庭への伴走型相談支援について

【所感】

妊娠期から出産・育児期まで一貫して妊婦や子育て家庭の相談に応じ、必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」が全国各地で始まっている。静岡市では、お母さんやお父さんが孤立感や不安感を感じることなく、安心して子育てができるよう、1歳・2歳の幼児がいる子育て家庭に、政令市初となる訪問型の相談支援を開始している。案内通知で面談を希望する養育者についてのみ訪問されているとのことだが、事後アンケートの結果も概ね満足されているようである。アンケート後の養育者への支援や面談までに至らない潜在的孤立養育者への対応、また訪問員数の確保など様々な課題があるようだが、妊娠時から相談機関が寄り添い、不安を払拭してあげることが大事だし、0～2歳児の子育ての悩みを乗り越えられるようにすることが、人口減少からの反転に必要なと感じる視察であった。